

【公開講座のお知らせ】

司法の観点からソーシャルワーカーに期待すること ～人と人とのかかわりのあり方と 社会で生きること～



オウム真理教事件発生当時、甲斐中氏は「オウム真理教事件特別捜査本部」本部長を務めておられました。甲斐中氏は、被疑者に対してもまずは人間性を認め、生き様に共感しながら、かかわることを貫いてこられました。その中で、オウム真理教の教義の崩壊と、真実の自白につなげていったという功績があります。このような甲斐中氏の姿勢は、人と人とのかかわりのあり方について大切な視点を教示しているのではないのでしょうか。

今回は、「人と人とのかかわりとは何か」、また心神喪失者等医療観察法の施行から「触法障害者がどう社会で生きていくか」等について、司法の立場からお話していただき、社会で生きていくことのより所を考える機会につなげていきたいと思っております。

【開催日時】平成 25 年 6 月 14 日(金)

入場無料

13 時 30 分～14 時 45 分 (受付:13:00～)

【開催場所】金沢歌劇座 ホール

【講師】甲斐中 辰夫氏

Profile

(卓照綜合法律事務所 弁護士／元東京高等検察庁 検事長・元最高裁判所 判事)

- 昭和 15 年 1 月 2 日生まれ。兵庫県豊岡市出身。
- 中央大学法学部を卒業後、検事に任官し、全国各地で凶悪事件を多く担当。
- 平成 5 年～平成 6 年 金沢地方検察庁検事正を歴任。
- 平成 7 年、オウム真理教事件発生の際は特別捜査本部長として事件解決に当たる。
- 最高検事長検事、東京高検検事長、最高裁判事を歴任。7 年余り裁判官として各種事件の審理を行う。
- 平成 22 年、最高裁判事を退官したのち弁護士となり、オリンパス(株)の不正経理に関する第三者委員会の委員長として真相解明と会社再建の方策を示すなど著名事件で活躍。
- 平成 24 年 11 月 旭日大綬章受賞。

主催：公益社団法人日本精神保健福祉士協会

協力：公益社団法人日本精神保健福祉士協会石川県支部・石川県精神保健福祉士会

後援：石川県・金沢市(予定)

【問い合わせ先】全国大会・学術集会事務局 (医療法人社団長久会 加賀こころの病院 医療福祉相談室内)

〒922-0831 石川県加賀市幸町 2-63 電話：0761-72-0880 FAX：0761-72-0875 E-mail：kokoro-chiiki-soudan@chokyu.gr.jp